

技術士 2 次試験に合格して



高川 浩仁

(たかがわ ひろやす)

勤務先

元・三菱日立パワーシステムズ株式会社

呉プロジェクト契約遂行部

〒737-8508 広島県呉市宝町 6 番 9 号

E-mail taka20131110@h07.itscom.net

■ 専門：機械部門(動力エネルギー)

1. 自己紹介

私は、1958 年(昭和 33 年)に北海道室蘭市で生まれ、大学を卒業するまで室蘭の地にいました。大学では、化学工学科を専攻し、バブコック日立株式会社(発電用ボイラー、環境装置等のメーカー)へ入社しました。

入社当時から東京・本社で技術営業として見積・受注関係の業務を担当し、主に新技術の開発関係を担当していました。入社 5 年目に、横浜研究所での開発業務を経験したこともその後の技術知識の形成に大いに役立っています。

2. 技術士試験に至る経緯について

2014 年 2 月三菱重工と日立製作所の電力部門が統合し、三菱日立パワーシステム株式会社が設立されました。遅れること半年後の同年 10 月にバブコック日立株式会社が加わり、私は呉勤務を命じられました。青天の霹靂まさかの転勤でした。当然、単身赴任です。転勤当初は、技術士を意識していませんでしたが、統合会社では技術士に対して優遇措置があることがわかり、急遽挑戦することにしました。この時点で既に 2 年経過してしまいました。単身赴任の身には時間は自由です。2017 年一次試験に挑戦、合格できました。

3. 技術士二次試験について

(1) 筆記試験について

技術士二次試験は申込書の段階から既に始まっているとの先輩技術士からのアドバイスがありました。申込書の先輩技術士のチェック、社内講習会によるチェックと 2 重のチェックで万全の準備で進めました。筆記試験対策として外部の通信教育による添削指導を受けたりもしました。試験は 7 月 16 日。その 10 日ほど前です。西日本豪雨により、7 月 8 日から呉は陸の孤島と化し、さらに断水という

試練を受けました。交通遮断に断水、リスク管理、BCP などと試験対策を思いながら、試験の 2 日前から広島に宿をとり、出来る限り試験に集中出来るように環境を整えました。余談ですが、断水は 7 月末まで、呉線(呉-広島間)復旧は 9 月初旬まで掛かりました。何十年に 1 回の大災害でした。

予定通り 9 月末定年。10 月札幌へ引越し。

こんな状況だったので、10 月 30 日の合格は感無量でした。

(2) 口頭試験について

既に、定年退職しており、会社の先輩技術士を頼ることは適わず、ここまでで良いかなと諦めかけましたが、逆にここまで来たからには悔いの残らぬよう出来ることをやろうと決意が出来ました。調べると外部の模擬面接があることが分かりました。多少の出費は先行投資です。

本番まで今度は妻を面接官としてシミュレーション。何度も繰り返し、本番では落ち着いて面接を受けることが出来ました。

4. 今後の抱負

技術士合格祝賀会で「技術士としては合格からがスタート」とのことばがありました。今現在、企業に所属していないので、①日本技術士会に入会し、先輩技術士との技術交流、②日々継続研鑽のため図書館通いによる情報収集の継続、③一刻も早い所属先を見つけること、が当面の活動になります。

日本技術士会の皆様に於かれましては、格別のご指導をお願い申し上げます。

5. 最後に

技術士の資格を取得するにあたり、元所属先の技術士諸先輩、社内講習会での講師の方々、外部機関の講師の方々、そして家族に改めて感謝いたします。ありがとうございました。